

広報

# ただみ

2

2012 月号

No. 501  
平成24年2月10日



## 今月の表紙

明和地区のチビっ子が1月28日、スキー体験教室に参加。インストラクターからスキーの履き方や歩き方の指導を受けたあと、少しずつ斜面を滑り、楽しそうに雪と触れ合った。全3回開かれるスキー教室の最終目標はひとりで滑ること。みんながんばってね。

只見町表彰式・公共施設落成式	2～3
南会津地方環境衛生組合が4月誕生	4～5
青少年健全育成主張大会・標語入賞者表彰式	6～13
自然首都・只見 秋のフォトコンテスト 他	14～17
町の話	18～19



▲新年交歓会・祝賀会



▲特別功労表彰の五十嵐拓さん



▲式辞を述べる目黒町長

# 平成23年度 只見町表彰式・公共施設落成式

## 多年のご活躍に感謝・さらなる町政進展を願う

只見町表彰式・公共施設落成式は1月5日、季の郷湯ら里で行われ、55名の方が只見町表彰条例に基づき表彰を受けました。また公共施設落成感謝状が関係者に贈られました。

式では目黒町長が「多年にわたり町勢進展のため貢献され、町民の模範となる献身的な皆様のご活躍に感謝します。また、それを支えたご家族の皆様にも感謝いたします」と式辞を述べ、受賞者一人一人に表彰状が手渡されました。

受賞者を代表して只見町消防団長の鈴木好行さんが「昨年、只見町は豪雨により甚大な被害を受けました。これからは安全で安心して暮らせる地域を築きあげ、美しい風景がよみがえるまで全団員一丸となって協力していきます。本日はありがとうございます。ありがとうございました」と謝辞を述べました。また、表彰式終了後、新年交歓会・祝賀会が開かれました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略・順不同)

### ■特別功労表彰

▽五十嵐拓(長年にわたり議会議員並びに町職員を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献)

### ■功労表彰

▽齋藤邦夫(長年にわたり議会議員並びに町職員を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献)

▽河野昭一(本町の自然環境の価値を国内外に知らしめ、ブナ林の価値を不動のものとし、町のブランド確立に貢献)

▽若林慶次(長年にわたり農業委員を務め只見町の農業の振興・発展に貢献)

▽鈴木好行(7・29新潟・福島豪雨災害に際し地域住民の避難救助活動に貢献)

▽鈴木基(同)

▽鈴木淳(同)

▽鈴木英(同)

▽鈴木信一(同)

▽新國善記(同)

▽三瓶宏(同)

▽吉津高弘(同)

▽鈴木木僚(同)

▽長澤文男(同)

▽酒井雅喜(同)

▽鈴木尚(同)

▽新國伸一(同)

▽新國真也(同)

▽鈴木佳憲(同)

▽五十嵐健司(同)

▽平野敏則(同)

### ■頭章

### ■善行表彰

▽吉田六郎(自然首都・只見応援基金に30万円を寄附)

▽馬場順子(献血30回以上)

▽目黒英樹(同)

▽高原豊(同)

▽飯塚愛(同)

▽新国いづみ(同)

▽島谷裕彦(同)

▽只見高等学校(長年にわたり献血会場提供と学校ぐるみでの献血協力)

▽鈴木リツ子(病弱者の家庭内看護5年以上)

▽酒井啓安(同)

▽小沼マツ子(同)

▽渡部ゆみ(同)

▽菅家ヒコイ(同)

▽菅家哲治(同)

▽渡部輝雄(同)

▽渡部清一・ミネ子(同)

▽佐藤勝祐(同)

▽五十嵐博正(同)

### ■永年勤続表彰

▽鈴木好行(消防団員31年6ヵ月)

▽目黒邦友(同)

▽三瓶友一(同)

▽吉津唯利(同)

▽佐藤長次(同)

### ■感謝状

▽只見町消防団(東日本大震災並びに7・29新潟・福島豪雨災害に際し団員一致団結し災害救助活動全般に尽力)

▽ティーエヌアイ工業株式会社(社会津工場)長年にわたり献血会場提供と職場ぐるみでの献血協力)

▽株式会社(社会津工場)

### ■工事関係者感謝状

只見小学校体育館改築

▽(株)邑建築事務所(設計・監理)

▽美馬建設(建築・機械設備工事)

▽(株)大竹電気工事店(電気設備工事)

町下野球場改修

▽(株)西部コンサルタント(設計者)

▽大正工業(施工者)

明和小学校プール改築

▽(株)白井設計(設計・監理)

▽(株)南会西部建設コーポレーション(南会津本社(施工者))

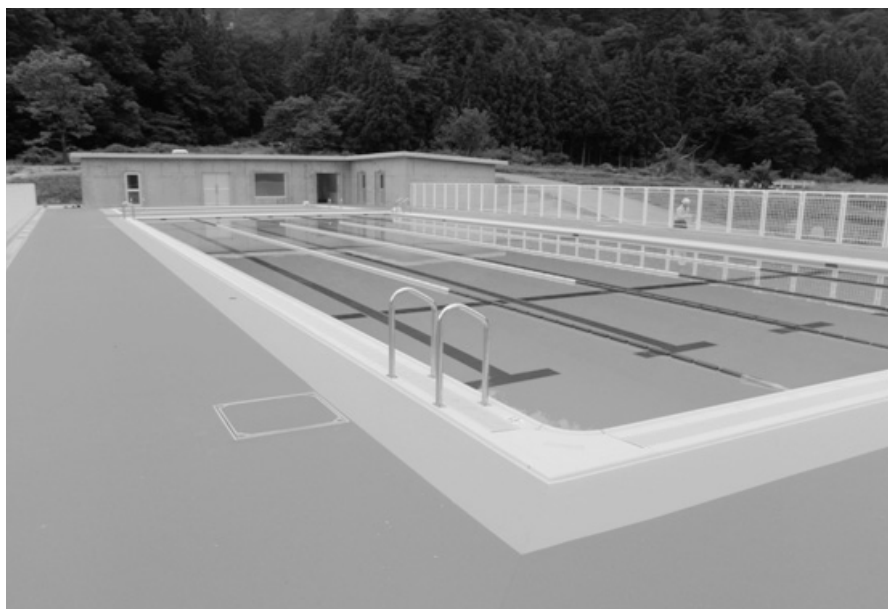
平成22年度に落成した公共施設



【施設名】  
只見小学校体育館(改築)  
【所在地】  
只見字上ノ原1735番地の1  
【建築年度】  
平成22年度  
【施設概要】  
鉄筋コンクリート造2階建  
建築面積 1,167㎡  
延床面積 1,992㎡  
【総事業費】  
3億6,904万2千円



【施設名】  
町下野球場(改修)  
【所在地】  
只見字町下2,591番地の1  
【建築年度】  
平成22年度  
【施設概要】  
グラウンド面積 10,937.5㎡  
(内野部 2,873.51㎡)  
(外野部 8,063.99㎡)  
フィールド 両翼 90m  
                  中堅 115m  
フェンス 高さ 2m  
防球ネット 1塁側 高さ 8m  
                  3塁側 高さ 11m  
【総事業費】  
1億1,216万3千円



【施設名】  
明和小学校プール(改築)  
【所在地】  
小林字上平1,423番地  
【建築年度】  
平成22年度  
【施設概要】  
鉄筋コンクリート造  
建築面積 144㎡ } 管理棟  
延床面積 144㎡ }  
プール面積 大 25m×10m  
                  小 10m×6m  
【総事業費】  
1億2,298万1千円

# 衛生組合が統合します。よろしくお願ひします。

## 「南会津地方環境衛生組合」平成24年4月誕生

南会津郡内には、田島下郷町衛生組合と西部環境衛生組合があります。

この両衛生組合は平成24年3月31日をもって解散し、南会津町、下郷町及び只見町を区域とする「南会津地方環境衛生組合」に生まれ変わります。



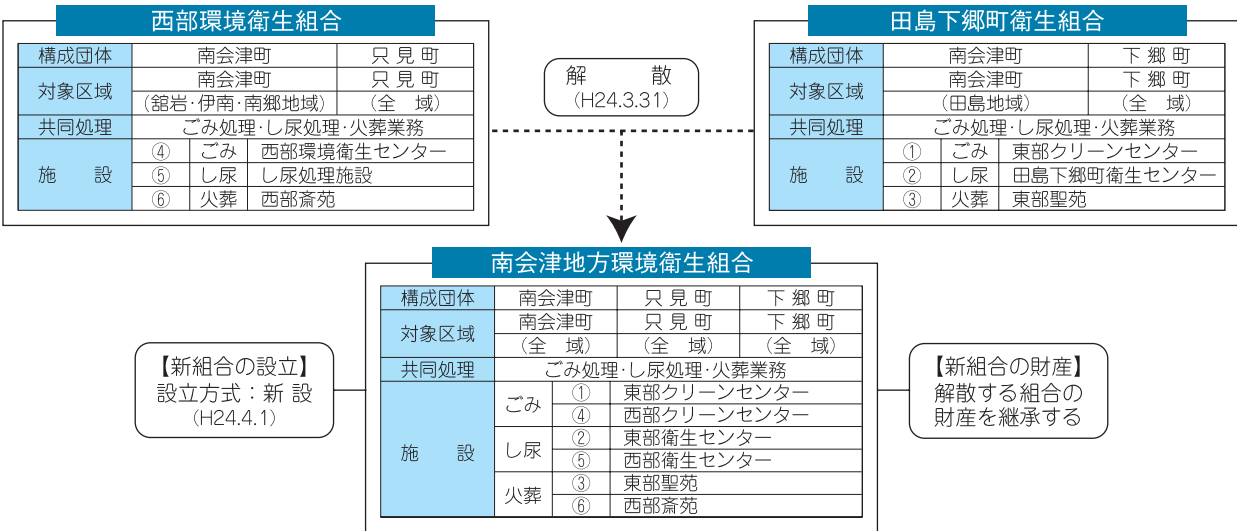
▲三町長による衛生組合統合協議書締結式(平成23年9月27日実施)  
左から大宅宗吉南会津町長、目黒町長、湯田雄二下郷町長

### 衛生組合の統合目的

両衛生組合では、現在、ごみ処理・し尿処理・火葬業務が行われています。

業務の内容は全く同じであり、経費の節減につながる効率的な運営と、今後予定される施設の更新など広域的な処理に対応するため、新たな衛生組合の設立が求められています。

### 両衛生組合の概要と統合のイメージ



### 管理者・副管理者と 議会議員

新衛生組合には、組合運営の責任を担う管理者と副管理者が置かれます。今後、南会津町長、下郷町長及び只見町長の三町長の互選により、その職が決定します。

また、新衛生組合の議会議員も、南会津町、下郷町及び只見町の議会議員の中から、選出されます。

- ◇ 管理者会 管理者 1名  
副管理者 2名
- ◇ 議 会 議員定数 13名
- 選出区分 南会津町 6名  
下郷町 4名  
只見町 3名

### 組合運営費に 関する三町分担金

- 衛生組合の運営にあたり、南会津町、下郷町及び只見町の三町では、分担金の支出が行われます。算出方法は次のとおりです。
- ◇ 総務に関する経費 人口割：100%
  - ◇ ごみ処理に関する経費 利用割：100%
  - ◇ し尿処理に関する経費 利用割：100%
  - ◇ 火葬業務に関する経費 利用割：100%

### 新衛生組合の 事務所と施設

事務所の位置は、現田島下郷町衛生組合の事務所と同じ、下郷町落合地内に置かれます。なお、現西部環境衛生組合の事務所は、西部環境センターとして、問い合わせへの対応や各種手数料の収納事務等が行われます。

また、ごみ処理施設・し尿処理施設・火葬場は、一部の施設で名称の変更はありますが、これまでと同様に稼働します。各施設の名称と連絡先は、次のとおりです。

南会津地方環境衛生組合	
組合事務所 (東部クリーンセンター内)	〒969-5343 南会津郡下郷町大字落合字下川原138番地1 TEL (0241) 67-2480
東部クリーンセンター	TEL (0241) 67-3820
東部衛生センター	TEL (0241) 67-3414
東部聖苑	TEL (0241) 62-1175
西部環境センター (管理事務所)	〒967-0611 南会津郡南会津町山口字下荒町2172番地9 TEL (0241) 72-2639
西部クリーンセンター	電話は西部環境センターで対応します
西部衛生センター	
西部斎苑	

# お問い合わせ先

衛生組合の統合に関するお問い合わせ先は、次のとおりです。

南会津地方衛生組合  
統合準備委員会  
(田島下郷町衛生組合事務室内)

電話(0241)67-2480  
FAX(0241)67-2120

# 火葬料金

火葬料金について変更はありません。ただし、生活保護受給者に関する取り扱いで、生活保護を受けている方が死亡された場合の火葬、生活保護を受けている方が喪主となる場合の火葬については、火葬料金を2分の1に減免します。

田島下郷町衛生組合と西部環境衛生組合では、ごみ処理・し尿処理・火葬業務の取り扱いの中に、一部相違点がありました。今回の統合協議において調整された結果を、業務ごとにお知らせします。なお、現在の指定ごみ袋は、そのまま使えます。

ごみ処理・し尿処理・火葬業務の取り扱いが一部変更されます

# ごみの収集回数等

## 〔ごみの収集回数〕

◇東部地区(南会津町田島地域と下郷町)  
○ごみの収集回数は、平成23年度と同じ取り扱いになります。

◇西部地区(南会津町館岩・伊南・南郷地域と只見町)  
●次のごみ収集について回数の増などがあります。

可燃ごみ	祝日における収集回数を増やし、年末年始を除き1週間に1回の可燃ごみ収集が確保されます。
資源ごみ	12月から3月までの冬期間においても、ペットボトル・段ボール・古紙の収集が、毎月1回行われます。なお、びん類は冬期間のみ不燃ごみとして出していただき、衛生組合において選別作業が行われます。
粗大ごみ	町の事業として行われていた粗大ごみの収集が、4月からは、衛生組合の業務として年に2回の収集が行われます。

## 〔ごみ処理施設の自己搬入受入れ〕

◇東部地区(南会津町田島地域と下郷町)  
●平成24年度もこれまでと同様に、毎月第一・三土曜日、指定日曜日(年間9回)、年末特別受入日(12/29)が設定され、ごみ処理施設における自己搬入の受入れが行われます。

◇西部地区(南会津町館岩・伊南・南郷地域と只見町)  
●平成23年度までは、年末特別受入日(12/29・30)のみの対応となっていたましたが、4月からは、東部地区と歩調を合わせた自己搬入の受入れが行われます。

(確認方法)詳しくは、3月下旬に配布される「ごみ収集カレンダー」でご確認ください。

次のような取り扱いになりました。

# ごみの収集回数

# 事業系ごみの処理手数料

◇東部地区(南会津町田島地域と下郷町)  
○10kg当たり100円(1tあたり10,000円)となっている現行の手数料が、新組合の手数料となりますので、変更はありません。

◇西部地区(南会津町館岩・伊南・南郷地域と只見町)  
●10kg当たり55円(1tあたり5,500円)となっている現行の手数料を、4年間にわたり段階的な調整を行い、最終的には、10kg当たり100円(1tあたり10,000円)に統一されます。

平成24年度	10kg当たり 55円(1tあたり 5,500円)	平成26年度	10kg当たり 85円(1tあたり 8,500円)
平成25年度	10kg当たり 70円(1tあたり 7,000円)	平成27年度	10kg当たり 100円(1tあたり 10,000円)

〔おことわり〕 東部地区の事業系ごみを、西部地区のごみ処理施設に持ち込むことはできません。また、その逆のパターンについても対応できませんので、ご注意願います。

事業活動に伴い発生する一般廃棄物は、県内の事例を参考に調整し、次のような取り扱いになりました。

# 事業系ごみの処理手数料

# し尿処理手数料

## 〔し尿汲み取り手数料〕

◇東部地区(南会津町田島地域と下郷町)  
○一般家庭や事業所等からし尿の汲み取りを行った場合、現在は、180ℓ当たり1,500円の手数料が徴収されていますが、4月からは、180ℓ当たり1,600円に改訂されます。

◇西部地区(南会津町館岩・伊南・南郷地域と只見町)  
●西部地区の料金は、現在、180ℓ当たり2,100円となっていますが、4月からは180ℓ当たり1,600円に改訂され、東部地区の料金と同一の金額になります。

〔ご注意〕上記の金額に、消費税は含まれておりません。

## 〔し尿投入手数料〕

◇東部地区(南会津町田島地域と下郷町)  
○一般家庭や事業所などからし尿や浄化槽汚泥の収集を行った事業者がし尿処理施設に投入する際に、現在、1,800ℓ当たり600円の手数料を衛生組合に納付していただいておりますが、4月からは、1,800ℓ当たり700円に改訂され、西部地区の料金と同一の金額になります。

◇西部地区(南会津町館岩・伊南・南郷地域と只見町)  
●西部地区の料金は、現在、1,800ℓ当たり700円となっており、この料金が新組合のし尿投入手数料となることから、料金の変更はありません。

し尿汲み取り手数料及び、し尿投入手数料は、県内の事例を参考に調整し、次のような取り扱いになりました。

# し尿の処理手数料

熱い思いや経験から得たことを言葉に...

# 健全育成主張大会・標語表彰



▲ 発表者と標語入賞者のみなさん

第26回只見町青少年健全育成主張大会・健全育成標語入賞者表彰式が、1月28日に季の郷湯ら里で行われ、将来の夢や希望、震災や水害を経験しての考えなど、発表者の気持ちが進められた熱い言葉に感動の拍手が送られました。

## 標語入賞作品

(敬称略)

部門	賞名	標語	所属	氏名
小学生の部	優秀賞	あいさつと 感謝の言葉で 人つなが	明和小学校6年	菊地美結
	佳作	学習が 明日への階段 つなぐんだ	只見小学校6年	五十嵐夏希
	佳作	只見町 笑顔で復興 がんばろう	朝日小学校6年	黒目真子
	佳作	あいさつで 絆をつなぐ 地域愛	明和小学校6年	角田妃菜子
中学生の部	優秀賞	積みかさね 夢に近づく 第一歩	只見中学校3年	馬場光弘
	佳作	仕事する 父母の背中に ありがとう	只見中学校1年	齋藤咲希
	佳作	あたたかい ごはんとあいじょう ありがとう	只見中学校2年	新國優
	佳作	力つけ 夢を叶える この町で	只見中学校3年	飯塚奈央
高校生の部	優秀賞	ボランティア 地元のできる 恩返し	只見高等学校3年	佐藤賢人
	佳作	あいさつと 笑顔でつながる 地域の輪	只見高等学校2年	星花那美
	佳作	流れない 強い絆は いつまでも	只見高等学校3年	山井雅美
	佳作	災害に 負けない強さを 持つ只見	只見高等学校3年	酒井なつみ
一般の部	優秀賞	前向きに 耐え抜く只見 つながる手	只見・沖	菅家紀子
	佳作	見直そう みんなで出来る ボランティア	梁 取	山内美代子
	佳作	「元気かや」 町民にかけろ 笑顔の目	蒲 生	田中ケイ子
	佳作	少子化に 忘れちゃいけない 半分こ	福 井	渡部ゆき子

主張大会では、小学生3名、中学生3名、高校生2名が、今思っていることを感じていること、体験したことなどを心を込めて発表しました。その熱い思いが約70名の来場者に伝わり、発表者の言葉に感動されていました。

続いて行われた標語入賞者表彰式では、青少年健全育成町民会議会長の目黒町長が、出席された入賞者一人一人に賞状と記念品を贈りました。標語には、247点の応募があり、どれもすばらしいものでした。

主張大会での発表内容と、標語の入賞作品を紹介します。ぜひ、ご覧いただき、健全育成の活動にご理解とご協力をお願いいたします。本事業は、町民の皆さんからの協賛金により実施されています。

# 「絆」について考える



只見小学校6年

新 陸くん  
にっくに りく

「絆」と聞いて皆さんはどのようなことを思い浮かべますか。去年起こった大震災や豪雨災害からみんなが協力して復興へ向かって行動する姿を思い浮かべる人がほとんどでしょう。でも、ぼくは少し違います。ぼくが真っ先に思い浮かべるのは、学級の合い言葉としての「絆」です。

ぼく達、只見小学校の六年生は、五年生の時から学級の合い言葉を「絆」にして十四人の心をつなげようと努力してきました。それを提案したのは、ぼくです。それは、保育所からずっと一緒にの十四人と、本当に心を合わせてみたいと思ったからです。

ぼくの友達は、みんな個性的です。例えば自由ほん放でゆかいな友達。一つのことにごだわって集中力を発揮する研究好きの友達。いつものんびりマイペースな友達。一人一人全く違う個性であふれています。そんな友達のことが、ぼくは大好きです。でも、それぞれの性格が違いすぎて、トラブルに

なることも少なくありません。ところが、高学年になったので、いろいろな行事でも責任を果たさなければならなくなり、自分達がけんかをしている場合ではないと思えました。だから、「絆」を合い言葉にして協力し合っていけば、只見小学校の代表としてふさわしい高学年になれると考えたのです。

ところが、ぼくが考えたように簡単には「絆」は深まっていきませんでした。

ぼくは、「絆」を深めるために一番大切なのは、心一つにして行動することだと思えます。ですが、小さい頃からずっと一緒に兄弟みたいな関係のぼく達には、相手のことを思いやるという気持ちがありませんでした。

だから、ついついちよつとしたことで相手に対して乱暴で激しい言葉を使ってしまうたり、取っ組み合いのけんかをしてしまったりということが、以前のようにずっと続いてしまい、なかなか心を一つにすることができませんで

した。

大きく変わったのは、五年生の学習発表会の時です。ぼく達は、学年発表の演技を、「絆」を深めて成功させるために、組み体操とダブルダッチ、そしてハンドベルでの演奏と決めました。どの演技も、心を合わせて取り組まなければ絶対に成功しないものだからです。練習の時には、ふざけてしまう人がいて言い合いになることが多くありました。その度に「絆」という言葉が、ぼくの頭に浮かび、「やっぱり、ぼく達には絆を深めるのは無理なのかなあ。」とさびしい気持ちになりました。でも、発表会の日が近づいてくるにつれ、みんなの本気が伝わってくるようになっていました。本番は、一つ一つの演技を、ていねいに心を合わせて取り組み、大成功させることができました。それは、今までに味わったことがない達成感でした。十四人の心が一つになるという感覚を初めて体験し、感動しました。

それからぼく達は、六年生になった時にも「もつと絆を深めたい」と思い、また、合い言葉を「絆」にして、いろいろな行事に取り組んできました。体育交歓会のリレーでは、絶対に男子も女子も優勝するという目標を立て、達成することができました。また、今年度の学習発表会では、初めて只見町の歴史劇に挑戦し、大成功させることができました。六年生は、もともとゆ快地楽しいメンバーですが、本当にあった劇なので、真剣にやらないと来てくださったお客さんを感動させることはで

きないと話し合い、みんなの気持ちを込めて真面目に取り組みました。ぼくは、演技に入り込み、本当に泣きそうになつて友達を見て、「心を一つにすればこんなすごいことが、ぼく達にもできるんだ。」と驚きました。見ていた家の人達だけでなく、先生や地域の方々にもたくさんほめていただき、本当にうれしい経験でした。これも、同じ目的の仲間が、心を一つにして一生懸命に取り組んだからできたんだなあと思いました。

心を一つにすれば「絆」が深まっていく経験は、他にもありました。それは、去年の豪雨の時です。ぼくが住んでいるのは只見の沖地区です。沖地区は、只見川と伊南川の合流地点にあり、大きな水害にあいました。そのため、ぼくの家は二階の床まで水につかってしまいました。ぼく達家族は、すぐに只見小学校へ避難したのでみんな無事でしたが、家はそのままでは住めなくなっていました。次の日から、お母さんとおばあちゃんの家を片づけたくたくたになって避難所に帰ってきました。ぼくも行くことしたら、

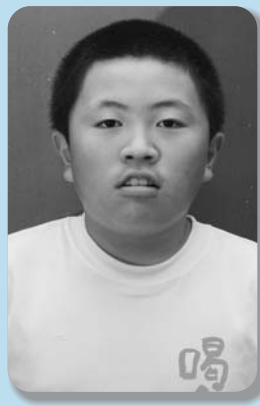
「ひどい状態だからだめ。」を言われました。きつと、ぼくの事を思っ言ってくれたんだと思います。でも、水がある程度引いた日に、ぼくも手伝いに行きました。泥は重く、すくっても流れ落ちてしまい、大変でした。その大変な作業には、たくさんの人達が手伝いに来てくれていることを知りました。みんな、「疲れた」とも



言わず、心を一つにして、もくもくとぼくの家をきれいにしてくれていました。おかげでぼくの家の中は、きれいにかたづき、ぼく達家族は、元気をもらいました。手伝ってくれたみなさんには、とても感謝しています。

きつと大震災で大変な思いをした人達も、同じように心を一つにしながら復興に向かって活動していく中で、「絆」を感じながら元気になっていったのだ

## あの日から



朝日小学校6年

目黒裕大くん

七月二十九日。ぼくの家は全壊した。小学校での離任式が終わり、ぼくは、いつものように家で寝ていた。今週は、ずつと雨が降り続いていた。そして、午後四時。お父さんが、「本家に逃げろ。」と、言いに戻ってきた。ぼくの家は横にある川の水量がものすごく増え、道路に水があがっていたのであった。本家に逃げると、本家の家の横にある花だんにも川のように水が流れていたのであった。三十分くらい本家にいて、

ろうなあと思います。このように、ぼくは、身近なところで「絆」について考えることがたくさんありました。これから先も、きつと「絆」が必要になることがたくさんあると思います。その時には、この二年間で学んだ、心を一つにして行動した経験の思い出しながら、いろいろなことを乗り越えていきたいと思っ

ぼくはずつと外を見ていた。雨がやみ、じいちゃんとお母さんは家にもどった。お母さんは、断水になるからといって、家にある鍋に水を入れていた。じいちゃん、川の様子を見ながら、「川の水が引いたからみんなもどれるぞ。」と、本家に言いに来た。十分ぐらいたつてから、再び外を見てみると、お父さんがものすごいスピードで、車を運転してきた。何かと思っ

てきてたのだ。ぼくは、外に出て山の方を見ると、「バキバキ。ゴロゴロ。」と雷のような音が聞こえた。すると、隣の家のビニールハウスに木と土砂があたった。おどろきをかくせないままいると、お父さんが、「裏山がくずれるからにげろ。」と言った。道路を見ると、ドロなどが一メートルぐらいの高さで流れていた。ぼくは、お父さんにおぶわられて佳祐君の家に行った。そのとき、お父さんに「お母さんはどうしたの。」と尋ねたけれど、答えてくれなかった。そして、佳祐君の家に着き、外を見るとスイカやコイがいっぱい流れていた。布団に入ったが、お母さんや家のことが心配になり、寝られない。すると、消防団の人たちの、「だれかいませんか。」という大きな声が聞こえてきた。それを聞き、佳祐君のばあちゃんが、「荷物まとめろ。」とあせるように言った。伊南川の水位が危険水位を超えていたようだ。その後、避難をして杉沢に行った。杉沢に向かう車の中では、家は大丈夫だろうか、お母さんは大丈夫だろうかといういろいろと考えているうちに、足がふるえてきた。

夜中の十二時頃、また強い雨が降ってきた。杉沢から湯ら里までの道が通ったので、湯ら里にみんなで行くことになった。

ると、信じられない光景を目の当たりにした。家が土砂にうまっていたのだ。足がすくんでしまった。ロビーにもどると、お母さんが立っていた。お母さんにどうしていたのか聞くと、鍋に水を入れておくと雷のような音が聞こえたので、迷うことなく田んぼに飛び込んだということだった。本当に助かってよかった。ぼくは、一安心した。

さらに翌日の新聞を見ると、ぼくの家と土砂に埋まった車がのついていた。ぼくは、声が出なかった。一体ぼくの家はどうなってしまったのだろうかと思安な気持ちになった。

何日かたつて、家にもどってみると、家の中は、ドロだらけだった。ぼくは頭の中は真っ白だった。あの日寝ていたこと、仏だんにおいてあった通知票。

次の日から、家の中に入った土砂出しをみんなで始めた。親せきや同級生も手伝いに来てくれた。みんなの気持ちがとてもうれしかった。みんなで汗をかき、協力して作業にあたった。そのおかげで、三週間くらいで家の中の土砂は片付き、家の前にあつた十メートルぐらいの土砂の山もなくなつた。

ぼくは、改めて思った。只見町が復興していくためには、只見の人たちが下を向かず上を向いていくこと、笑顔で生活することが大切であると思つた。笑顔は、ため息の何倍もいいことだと思ふ。笑顔でいれば、他の人もうれし



ながうれしい気持ちになれば、笑顔が広がる。そんな只見町になってほしいなと思う。

ぼくが、今できることは少ないと思う。でも、笑顔でいることはできる。ぼくが笑顔でいることで、じいちゃんやお父さん、お母さんが安心する。家族みんなが上を向いて過ごすことができる。そんな当たり前の毎日を過ごしていきたい。ぼくが、大人になったら

七月二十九日以前よりもステキな只見町にしていきたい。

十月に入り、ぼくにはもう一つの目標ができた。今までは、プロのスキー選手になることだけであつたが、この水害の経験から地区の安全を守る消防団員にもなりたいと思うようになった。大好きな只見町をよりよくするために、これからも、大人になってからも、笑顔で前向きにがんばっていきたい。

## 「欠点」から生まれた志



明和小学校6年  
飯塚 健太郎くん

『口げんか』  
それはぼくが得意とすること。今まで、友達と口げんかをして負けたことはほとんどない。心に浮かんだ気持ちごとんとん頭の中で自分の言葉となり、次から次へと口から出てくる。自分なりに、どうしてこうなったのかを考えながら、自分なりの言い分にとどりつく。そして、こう言い聞かせるのだ。

「ぼくは悪くない」  
今思うと、本当にいやなヤツだ。当然、自分から謝ることはほとんどない。

そのせいで、仲直りできなかつたり、また新たなけんかを生み出してしまつたり、そんなことが何度もあつた。しかし、ある日、ふとぼくは思った。本当にぼくは悪くなかつたのか、口げんかで相手を深く傷つけるようなことを言つてしまつてはいないかと。その日から、けんかをしてしまつた時、少しでも自分に悪いところがあつたと気づいたら、すぐに謝るように心がけるようになった。自分が得意としてきた口げんかの途中で、自分から謝

つたり、言い合つてることがバカらしくなつて、相手と笑い合つたりすることが多くなつた。そのおかげか、友達と心の底からけんかをするということはほとんどなくなつた。時々、言い合いになることはあるが、以前と比べたら友達と良い関係を築けていると思う。

自分が得意としてきたことは、実は友達関係を悪くさせたり、新たな争いを生んだりしてしまう「欠点」でしかなかった。そう気づいたので、ところがある日、母にこんなことを言われた。

「健太郎、弁護士になつたら。その達者な口が生かせるよ。理屈っぽくて言いつの上手い人には向いてるんじゃない」  
たぶん母は、冗談で皮肉を込めて言ったのだと思う。けど、何だかぼくは少しうれしかった。自分の「欠点」が誰かの役に立つ、そんな職業があるのかと、素直に思ったからだ。もしかすると自分に合つているのかもしれない、そう思うと、少しずつ弁護士という職業に興味を持ち始める自分がいた。

弁護士は、実際のそうさや裁判に参加して、被告人・被疑者の弁護をする刑事事件と、生活の中のトラブルの解決を中心に行う民事事件とを取り扱う。どちらも大切な仕事である。ただ、弁護士は犯罪者側につくというイメージがあり、悪い人の味方につくのかと思うと、少し気が重くなつた。しかし、その考えもすぐに消えてしま

つた。ぼくはある本の一説を思い出したのだ。

「人殺しなんて、本当は誰だつてしたくないんだ。だけど、時として人は逃げ場のない苦悩にとられ、悩み苦しんだあげく、最後の選択として『悪魔のささやき』に耳を傾けてしまう」

このフレーズがぼくの心にひびいた。弁護士は、「悪い人の味方」ではない。この世には本当に悪い人などいないのではない。悪魔のささやきに耳を傾けてしまつた弱い人を救うことも仕事なのではないか。真実を見極め、弱い立場の人の力になれるよう、言葉で戦う弁護士になりたいと思うようになったのだ。

しかし、「えん罪」といつて、罪のない人の自由をうばつてしまつたり、その人の家庭をほうかいさせてしまつたりする、つまり何も罪のない人が罪をさせられてしまうという悲劇も現実では起こつている。そして、弁護士自身がそれに関与してしまふことがあるかもしれないのだ。つまり、そのような悲劇を生み出さないためにも、弁護士には、真実をしんちように見極め、正確な判断をくだす力が必要と言えらるのだ。

ぼくが、ある時まで欠点だと気づくことのできなかつた「口げんか」のように、「思いすぎし」などは、弁護士の立場では絶対にあつてはいけない、自分なりの言い分では通用しないのだ。さらに、弁護士には頭の回転の速さや知識、記憶力なども求められる。弁護



▲ 発表者に拍手



標語(高校生の部)優秀賞  
「佐藤賢人さん」

士になるためには、今の自分のままで  
はほど遠いと実感している。だからと  
言ってあきらめるつもりはない。これ  
から、中学・高校と頑張つて勉強し、  
大学へ進学して、ぜひ弁護士免許をと  
りたいと考えている。また、友達と付  
き合つていく中でも、自分の行動や言  
動に非があつた時には素直に認め、相  
手の立場やその場の状況もしっかりと  
考えて過ごしていききたいと思う。

夢は大きく、それを達成するための  
目標を細かく作り、一つ一つクリアし  
ていきたい。「欠点」だと思つていた、  
自分の「取り柄」を生かし、自分が頑  
張ることでの役に立てる、いつかそ  
んな日が来るのを夢見て。

## 子どもたちの「明日」という希望



只見中学校1年

馬場真樹さん

「明日やればいいか。」

この言葉を私はよく使つてしまひます。  
明日なんて、時間さえ経てばやつてく  
るし、一日の時間なんてそんなに長く  
はないと私は思つています。自分にど  
んなことが起きようが、明日があるとい  
うこともわかつています。それが自  
分の人生の終わりの日であつてもです。

私の知らない国や地域で、また、よ  
く知つていると思つていた国でも、子  
どもたちが過酷な労働に耐えている地  
域があります。私よりもっと年下の子  
どもたちが働いている現状です。もし  
て、どんなに働いても「子どもだから。」  
という理由で、ほんのわずかな賃金し  
かももらえません。幼い子どもたちがな  
ぜそこまでしなければいけないのか、  
私には全くわかりませんでした。  
しかしそれには、私たちが想像もつ  
かないような理由があつたのです。そ  
れは、家族のためなのだそうです。親  
を亡くしたりケガをしても経済的援助  
を受けられない子どもたちなのです。

生活費や病気になるたときの治療代、

その他さまざまな事情で、貧しさから  
逃れようと必死なのです。当然子ども  
ですから、特別な知識があるわけでは  
ありません。それに、働くために学校  
にも行けずに好きなこともできないで  
いるのです。もし、今の自分が同じ立  
場にいたとしたら、私は何をしている  
のだろうと思ひます。家族のために自  
分の将来を捨ててしまふ覚悟があるか、  
覚悟があつたとしても、家族を支えら  
れるようなことができるのか自信があ  
りません。とても不安になると思ひま  
す。そう考えると、この日本に生まれ、  
当たり前のように授業を受け、好きな  
ことを思いつきりできて、明日も必ず  
平和な日が来ると思つて過ごしている  
ことが、とてつもなくすごいことなの  
だと感じてしまひます。

そしてもう一つ、この子どもたちを  
苦しめている原因があります。それは  
内戦や紛争です。今や、「水」を奪い  
合う紛争が年間二百件以上も起きてい

るそうです。自分の国の中の争いご  
とで多くの人の命が奪われ、多くのけ  
が人も出ます。食料もなくなり、争い  
が終わつても大切な人を亡くした悲し  
みだけが残ります。大人たちの起こし  
た争いにより、子どもたちが苦しんで  
いるのです。私たちにとつても他人事  
ではないと思ひます。内戦や紛争で弱  
つてしまつた国があれば、その国の人  
のために援助や支援をしなければなり  
ません。そうやって他の国が困つてい  
たら、助けることが当然のことだと思  
ひます。

今、この平和な日本も助けられる側  
になつています。三月十一日の東日本  
大震災、台風十三号による豪雨被害な  
ど、自然災害により日本は傷ついてい  
ます。支援や援助に支えられて、日本  
には復興する力があります。でも、貧  
しい国にはその力がありません。援助  
の手も隔々までは行き届きません。水  
までも奪い合う世の中で、支援の手が  
足りないのはあたり前だと思ひます。  
世界にはいろいろな子どもがいます。  
争いを知らない子どもがいれば、平和  
を知らない子どももいます。学校に毎  
日通う子どもがいれば、言葉を知らな  
い子どももいます。そんな子どもたち  
の中で明日の命も考えている子ども  
がいるなんて、信じられないことです  
が、今の世界の現実です。だからこそ、  
これからの未来をつくる子どもたちの  
希望を失つてはならないと思ひます。  
子どもたちの「明日」という希望、そ  
して平和を求める心を。

# 世界が汚染される前に



只見中学校2年

吉津千晶さん

「汚染」という言葉を聞いて思い浮かべるのは、今だったら「放射能」という言葉だと思います。三月十一日の大震災以降、テレビのニュースや新聞では、「放射能」が大きく取り上げられています。この言葉を聞かない日はありません。それだけ人間にとつて恐ろしい存在なのだと思います。早く、目に見えない恐怖から抜け出したいと思いますが、残念ながら、そう簡単ではないようです。

しかし、放射能と同じくらい恐ろしいものがあります。それは化学薬品です。化学薬品は、突然変異を引き起こしたり、遺伝子に危険な作用を加えたりすることがあるのです。普段、あまり農業に関わることはない私たちには、殺虫剤や除草剤はなじみのないものです。お店で食品を買うときも、そんなに意識して買ったりしないし、当然のように安全だと思っている部分もあります。どの食べ物も薬品で汚染されています。それが全く使われていないかな

どと、細かいところまで注意して選んでいないと思います。

私は夏休みに『沈黙の春』という本を読みました。著者のレイチェル・カーソンは化学薬品による汚染について、世に訴えています。その後の研究で、レイチェルが記述した内容のすべてが正しいとは言い切れないことがわかったそうです。しかし、日本で環境問題が騒がれる何十年も前から、レイチェルは危機感を持っていたのです。この本で薬品汚染による被害を知り、「絶対に安全である」ということはないと感じました。

原発事故も、「絶対に安全だ」という考えがどこかにあつたからこそ起こってしまったのではないのでしょうか。化学薬品も放射能も、その便利さに夢中になり、恐ろしい部分が頭の片隅にあつたにもかかわらず、見えなくなつていったのかもしれない。

『沈黙の春』では、薬品や放射能は「どのように恐ろしい作用があるのか

よくわかっていない道具」と書かれています。現在では、化学薬品も放射能も、私たちの生活とは切っても切り離せないものになっていました。化学薬品はさまざまな場面で使用されていますし、放射能も原子力発電所で電気を作り出すためには、どうしても発生してしまふものです。でも、このまま「よくわかっていない道具」を使い続けていつてもいいのでしょうか。今の日本では、むやみに化学薬品を使ったりすることはありません。でも、放射能はどうでしょうか。日本のいろんな所に点在しています。薬品も核廃棄物も蓄積されていく一方です。便利なものには、その分リスクが生じることは世の常です。今回の福島原発事故のように、取り返しのつかないリスクがあるとわかっていけるのなら、初めから使わないでしょう。最後まで責任を持つて処理することができないのなら、絶対に使つてはいけなと思います。使わないことが無理なら、せめて使う機会を減らすことができないものなのでしょうか。

昨年、私の家にも県民全員を対象にした健康調査の書類が届きました。私たち県民は、これから何十年もの間、定期的に健康チェックをしなければなりません。なんだか、他の国民に観察されているような嫌な気分です。便利な部分だけを見ずに悪い部分もしっかりと見て、もう一度よく考えてみるのが大切です。便利さの陰には、落とし穴があることを忘れずに、生活していきたいと思えます。

# 七・二九

只見中学校3年

ば馬場美樹さん



七月二十九日、朝からずっと土砂降りの雨が続いていました。私はこの日、高校の体験入学に行っていました。お昼に体験入学が終わり、合唱練習に参加するため父の車で中学校に向かいました。中学校に向かう途中でも、何カ所も水があふれていました。私の頭にもその日の朝、祖母が言っていたことが頭に浮かびました。祖母は「蒲生は雨に強いから、土砂崩れはねえぞ。」と言っていました。しかし、

中学校に着いたとき、先生に「蒲生、危ないらしいぞ。」と言われ、とてもあせってしまいました。

それからが大変でした。学校から家になかなか帰れず、約四時間後に帰ることができました。父の車に、蒲生方面の生徒を五人乗せて帰ったのですが、普段通っている道はすでに通行できず、明和の松坂峠を越えて蒲生まで来ました。私たちが通った滝ダムのトンネルも大きな打撃を受けてしまいました。帰るのがもう少し遅かったら私たちは家に帰ることができない状態になっていたと思います。そして蒲生に着いたのはいいのですが、家が目の前にあるのに、家の前の道路は通行止めになっていました。目の前には、山の堀から流れてくる水が川のように流れており、そこで初めて恐怖を感じました。しかし私たちは、その川のような流れの中をびしょ濡れになりながら家に入りました。水の勢いがおさまらないので、八木沢と入叶津方面の三人は家に帰ることもできませんでした。三人は私の家に泊まりました。

家から外を見ていると、今度は川の水がみるみるうちに畑や田んぼ、家までもを飲み込んでいくのを見えました。川は氾濫していろんなものがすごい勢いで流れていきました。そして予想していた、停電と断水になってしまいました。その夜は、電気がないのでろうそくをともしたり、ランタンを点けたりして暗闇の恐怖から何とか逃れたい

と思いました。その夜は、水の力の恐ろしさについて、口々に話しました。しかし次の日、水の恐ろしさと同じくらいの恐怖を感じたのは、水の引いたところの光景が、生まれ育った蒲生ではないように感じたことです。どこを見てもゴミや土砂だらけで、震災後のテレビで放映された光景が、目の前に突然現れたようでした。あまりにひどい姿に私は心が折れそうでした。「一体これからどうなってしまうのだろう。」

という不安と、嵐の後の異常なまでの静けさ、ライフラインを絶たれてしまった恐怖が、いつべんに押し寄せて、なんだか力が出ません。今まで味わったことのない感情でした。黙っていると、涙があふれ出してきました。誰かが呆然とこの光景を見ているのだろうかと思っていたら、人々の声が聞こえてきて、片付け作業をしている人が大勢いました。蒲生の人は強いなあと思いました。ライフラインが途絶えた生活は一週間続きました。それまでの間、自衛隊のヘリで輸送されてくる配給品をもらって生活です。つらいと感じることもありましたが、震災で被害に遭われた方は、この何十倍もつらい経験をしているのだろうと思いを慢しました。

水害のあった日から約一週間後、水道・電気が使えるようになりました。電気がついた瞬間は、まるで初めて電気がついたかのように家族中で喜びました。普段何気なく使っているライフ

ラインが、こんなにも重要で、人間の生活に欠かせないものだとは考えてもみませんでした。

この水害でいろんな思い・感情が、次から次へと襲ってきました。恐怖・不安・もどかしさ・そして安堵感、忘れたくても忘れられない経験です。今もなお爪あとは残っています。元の風景以上にきれいな蒲生にするために、私にできることがあれば、積極的に取り組みたいと思います。

## 国際化のなかの日本語

只見高等学校2年

菅 家 祐 有 奈 さん



日本には、日本語という文化があります。そして近年、外来語の普及によって急速に増加したカタカナも、文化の一つとして日常的に用いられています。カタカナは会話の中で使いやすく、国際化する日本で普及することは当然のことですが、その中で元々の日本語を浸食している言葉があります。日本人ならば尊重すべき言語をないがしろにしている現状は、由々しき問題だと私は考えます。

古くから使われてきた日本語。漢字は、基本的に中国から入ってきました。もちろん国産の漢字もその中にあり、長い時間をかけて文化となり、それらは今日、海外から高く評価されています。ですが、カタカナは決してそうとは言いきれません。今、私たちの生活の中には、間違ったカタカナ語、いわゆる日本で独自に作られた、和製英語というものが多く存在しています。例として挙げるならば、「スマート」「メイク」といった言葉があります。スマートは、しばしば体格を表現する言葉として使われますが、本来の意味は、賢いという意味を持つ言葉です。メイクは、メイクアップという言葉省略した和製英語です。前者は本来の意味を学ぶうえで障がいとなり、後者は英語圏では通じません。これらの影響を受けてしまうと、英語を学ぶ際に大きな壁となり、本来の意味である日本語が使われなくなってしまうのです。改善方法の一つとして挙げられるのは、小学校での英語の時間を増やし、

今よりも学習内容を濃くするという方法があります。子ども時代から正しい言葉を活用するようになれば、間違ったカタカナ語の使われ方はなくなるのではないのでしょうか。小学校で英語を学ぶことについては賛否両論あります。

子どものうちは正しい日本語をしっかり学び、その後で英語を学んだ方がいいのだという意見も存在します。しかし、あえて子どものうちに正しい知識として正しい言語を学ぶことも有効なことではないでしょうか。そうすることで、日本語も今までとは違った視点でしっかりと学ぶことができ、現在のように、間違ったカタカナ語を覚えてしまう機会は減ることでしょう。つ

まり世界に誇れる文化である日本語を守ることもでき、現在ように間違った国際化の道を進むこともなくなるので

国際化を進めていった中で、日本は多くのものを得ていく一方、失ってしまったものも多くありました。それは私たちの身近なものも例外ではありません。時代と人が変わるのは世の常ですが、そのすべてを変えてしまえば、特色というものが消えてしまいます。新しいものや新しい考えを取り込んでいくのは自由ですが、日本人ならまず日本語を尊重し、日本人の特色を受け継いでいくというの必要なことではないでしょうか。

むこともできます。

しかし、インターネットには便利な面だけではなく、悪い面も存在します。それは「世界中のだれでも」使うことができるという点です。前の長所でも挙げたように、電子掲示板やホームページで自分の持っている情報を簡単に発信することができます。「世界中のだれでも」見ることができるといふことは、言い換えれば「世界中のだれが見ているかわからない」ということにもなります。また、一度流した情報は、それを見た人から人へ瞬く間に広がってしまうため、例えばそれが間違った情報でもそれが広まってしまい、混乱してしまうという例もあります。東日本大震災の時には、放射線に対する誤った情報が電子掲示板で出回っているという報道がありました。見えないものへの恐怖。ただでさえ恐ろしいものなのに、さも正しいものであるかのように広まった情報によって、さらなる恐怖心がおおられてしまいました。また電子掲示板やチャットなどでは、顔が見えないために「いじめ」が発生したり、犯罪に巻き込まれたりという事例が相変わらず絶えません。

これらをふまえて、私たちが今のインターネット社会の中を生きていくためには、見たり聞いたりした情報を即座に判断するのではなく、自分の目や耳で本当に正しい情報なのかを再確認すること、「世界中のだれに見られているかわからない」という意識を常に持ち、自分の発信する情報に責任を持

## インターネット社会の中で



只見高等学校1年

渡部夏芽さん

インターネットの長所は、まず、早い情報の伝達や多くの人との意見交換・交流ができることです。例えば、電子メールを使えば遠くにいなくてもすぐに連絡をとることができます。また、電子掲示板や自分のホームページ・ブログ

などに情報を書き込めば、インターネットのつながっている世界中に情報を発信することができます。チャットを使えば、画面上でリアルタイムで相手と会話をすることができます。オンラインゲームでは仲間との対戦や交流を楽し

つことが必要だと思えます。インターネット社会はますます進んでいきます。NTTドコモのホームページにはこんな動画がありました。少しだけこちらをご覧ください。(ムービーをスクリーンに投影)

このように十年後には、世界各国の方々とまるで隣で話をしていくかのような空間を共有できる世の中になつていくかも知れません。しかし、このような社会は「空間を共有する人たちがみんないい人」であることが前提とされる社会です。人と人とのつながりはそんなに簡単に成立するものでもありません。このような時代にこそ、私たちはしっかりと情報を判断する能力が求められるのです。



▲ 賞状と記念品を受け取る渡部夏芽さん

# 自然首都・只見 秋のフォトコンテスト

応募総数54点  
(26名)



只見  
町長賞

「晩秋  
幽玄」

鷹背 たかのほし

健次さん

(埼玉県)

ティーエヌアイ工業社長賞

「季節の流れ」石田 太郎さん(東京都)



審査員特別賞

「秋飾り」小林 末子さん(千葉県)



「霧立ちて」

三瓶 利之さん

(只見町)

「堆肥まき」

小田島 守明さん

(郡山市)

「実り」

高橋 洋子さん

(千葉県)

「秋の早朝」

菅家 晴夫さん

(只見町)

## 入賞作品展示

- 場所 只見町ブナセンター  
1階 ロビー
- 期間 2月29日(水)まで
- 入館料は必要ありません。

入選

▶有田検討委員長から提言を受け取る目黒町長(右)



豪雨災害からの復興基本方針にある「活力ある社会経済の再生」を実現するための事業として、12月13日に季の郷湯ら里で開かれた「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会の第2回の会議が同施設で1月27日に開かれました。

はじめに、有田博之検討委員長(新潟大学農学部生産環境科学科教授)のあいさつ

「この提言への取り組みには住民の理解と協力が必要です。この事業を効果的に進めるため、ぜひユネスコ・エコパークへの登録を実現してほしい」と一言述べ、目黒町長は「今後の取り組みに活かしていく。ユネスコ・エコパークも視野に入れ、専門的指導も受けながら継続的、戦略的に実行していく」とブランド化への考えを述べ、検討委員会は終了しました。

なお、提言の詳細については次号でご紹介いたします。

## 目黒町長へ提言手渡す 第2回「自然首都・只見」 ブランド確立のための検討委員会

豪雨災害からの復興基本方針にある「活力ある社会経済の再生」を実現するための事業として、12月13日に季の郷湯ら里で開かれた「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会の第2回の会議が同施設で1月27日に開かれました。

はじめに、有田博之検討委員長(新潟大学農学部生産環境科学科教授)のあいさつ

「この提言への取り組みには住民の理解と協力が必要です。この事業を効果的に進めるため、ぜひユネスコ・エコパークへの登録を実現してほしい」と一言述べ、目黒町長は「今後の取り組みに活かしていく。ユネスコ・エコパークも視野に入れ、専門的指導も受けながら継続的、戦略的に実行していく」とブランド化への考えを述べ、検討委員会は終了しました。

なお、提言の詳細については次号でご紹介いたします。

## 県総体スキー・大回転

### 新國健道さん(楢戸)が優勝

第64回県総合体育大会スキー競技(第2日)が、1月19日に猪苗代スキー場ミネ口(猪苗代町)で開かれ、アルペン競技の大回転3種目が行われました。只見町スキーチームに所属する新國健道さん(楢戸)は、成年男子B大回転に出場し、攻めの姿勢で斜面を恐れず旗門を通過。2位に大差をつける快走で見事、優勝しました。

少ない時間で効果的な練習を重ね勝利をつかんだ新國さんは「皆さんに支えられ優勝することができました。これからも練習を重ね、安定した滑りを身に付け国体でも、よい成績を残したい」と抱負を話しました。国体スキー競技は、2月14日から岐阜県で行われます。がんばってください。



▲表彰状を手にする新國健道さん

## 只見中学校スキー部健闘

### 福島県中学校体育大会 スキー競技大会

第54回福島県中学校体育大会スキー競技大会のアルペンとクロスカントリー競技は、1月16日から18日の3日間、猪苗代町の猪苗代スキー場ミネ口とクロスカントリースキーコースで開かれ、只見中学校の特設スキー部が出場し、健闘しました。結果は、全国中学校スキー競技大会に4名、東北中学校スキー競技大会には7名の選手が出場を決めました。また、クロスカントリーの男子リレーで第3位に、同競技の女子リレーでは第2位に入賞、さらに、男子総合で第3位、男女総合では第4位という成績を残し、只見中の名を響かせました。全国大会への出場権を手にした皆さんを紹介します。おめでとうございます。

全国中学校スキー競技大会 出場選手(2月1日~2月5日 アルペン:宮城県 クロカン:北海道)

目黒 郷さん	3年	男子アルペン	回転(2位) 大回転(3位)	回転4位・大回転6位まで
馬場 那央也さん	1年	男子クロスカントリー	フリー(7位・繰り上がり)	6位まで
一条 昭英さん	2年	男子クロスカントリー	クラシカル(9位・繰り上がり)	〃
山内 結さん	2年	女子クロスカントリー	フリー(5位)	7位まで

# 只見毎日杯

1月22日、第39回只見毎日杯ジャイアントスラローム大会が、只見スキー場で開かれ、町内外から、78人がエントリー、タイムを競いました。競技者はレベルの高い華麗なスキーコントロールでゴール目指しスキーを滑らせていました。順位のタイムは、2本滑走した合計です。成績は次のとおりです。(敬称略)

# ジャイアントスラローム大会

## 男子

- 【小学1部】①大桃歩(南郷ジュニアレーシング) 1分22秒44 ②五十嵐亮芽(南郷ジュニアレーシング) ③岩堀光(たかつえレーシング)
- 【小学2部】①渡部大輝(フォークチونسポーツ少年団) 1分11秒55 ②川又洸希(たかつえレーシング) ③渡部賢太郎(只見町スキースポーツ少年団)
- 【中学】①白岩拓朗(いいでレーシングスポーツ少年団) 1分08秒65 ②武藤憲(熱塩加納スキースポーツ少年団) ③福地健太(熱塩加納スキースポーツ少年団)
- 【少年】エントリーなし
- 【成年1部】エントリーなし
- 【成年2部】①新國健道(只見町スキーチーム) 1分12秒54
- 【成年3部】①目黒英樹(喜多方スキークラブ) 1分13秒30 ②栗田健司(金山スキースポーツ少年団) ③板橋泰二郎(三島町スキースポーツ少年団)
- 【シニア】①鈴木隆司(福島県マスターズスキー協会) 1分24秒21

## 女子

- 【小学1部】①猪俣向日葵(スクエアレーシング) 1分21秒



▲果敢にポールを攻める競技者

- 04 ②鈴木虹々(熱塩加納スキースポーツ少年団) ③大島憩(熱塩加納スキースポーツ少年団)
- 【小学2部】①星朱音(だいくらSIEGER) 1分14秒92 ②室井朋花(だいくらSIEGER) ③白岩真帆(いいでレーシングスポーツ少年団)
- 【中学】①佐藤萌(柳津町スキースポーツ少年団) 1分15秒90 ②福島里菜(門田スキースポーツ少年団) ③半澤綾乃(三島町スキースポーツ少年団)
- 【一般】①大森瞳(門田スキースポーツ少年団) 1分21秒82

### 只見線「会津川口～只見」臨時代行バス時刻表

バス便	4 2 6 便	4 3 0 便	4 3 4 便
駅名			
只見	7:15	14:25	17:45
会津蒲生	7:23	14:34	17:55
会津塩沢	7:30	14:41	18:02
会津大塩	7:42	14:53	18:14
会津横田	7:46	14:57	18:18
会津越川	7:51	15:01	18:23
会津本名	8:00	15:10	18:31
会津川口	8:05	15:14	18:37

只見 ↓ 会津川口

バス便	4 2 3 便	4 2 7 便	4 3 1 便
駅名			
会津川口	8:10	15:35	19:08
会津本名	8:15	15:40	19:13
会津越川	8:24	15:49	19:22
会津横田	8:29	15:54	19:27
会津大塩	8:33	15:58	19:31
会津塩沢	8:45	16:10	19:43
会津蒲生	8:52	16:17	19:50
只見	9:00	16:25	19:58

会津川口 ↓ 只見

※道路事情によりバスの運転時間は遅れる場合があります。  
 ※バスの遅れにより列車と接続できない場合があります。

【問い合わせ】JR東日本福島支店広報 電話024-522-2044

昨年、豪雨災害により運休となっていたJR只見線の会津川口駅から只見駅の間で、臨時代行バスが運行されています。バスは「ジオ・サイクル有会社(福井)」が運行、運転手は主に三瓶節さん(長浜)で、上り・下りそれぞれ一日3便の運行です。三瓶さんは「人の命を問わず大切な仕事、今は降雪期で道路状況もよくないので、細心の注意を払い、安全に運行したい」と気持ちを引き締めていました。

## 只見線「会津川口～只見」臨時代行バス運行

時刻表もお知らせします。ご利用ください。



▲只見駅前を出発する代行バス



只見学を推進

## 専門分野部会・懇談会

町教育委員会では、町民の皆さんが只見の歴史や自然文化などを学ぶ「只見学」を推進するためのガイドブックの制作を目的に、1月16日、只見学専門分野部会を只見地区センターで開き、委員13名が出席しました。この部会は、歴史、民俗、自然、文化、産業の5部門で編制され、各部会ごとにガイドブックに掲載する只見町内の只見学推進項目を選定、その内容を検討し、意見や提言を集約しました。

また、専門分野部会で選定された推進項目や提言などについて、学識経験者や町民の代表などが協議し、広く意見を聴取する只見学懇談会も、1月19日に只見地区センターで開かれ、10名が出席しました。今後は、専門分野部会、懇談会ともに3月中旬に開かれ、ガイドブックの制作や只見学推進体制の整備などについて作業が進められます。

1月8日、朝日地区センターで平成24年只見町消防団出初め式が行われ、副班長以上の幹部団員と関係者ら80名が参加しました。消防長の目黒町長が「昨年の豪雨災害時の迅速な行動と人命救助、捜索活動などにあたっていただき感謝します。これからも、消防団としての職責を全うされ、防火意識の高揚と、町民が安心して暮らせる安全な町づくりのために日々の努力をお願いします」と訓示を述べました。また、鈴木好行消防団長は「本年も、消す消防よりも出さない消防を心掛け活動する。消防団員の皆さんには、献身的消防意識を堅持され、さらに力強いご協



▲活発な意見交換をする専門分野部会の委員

町民が安心して暮らせる安全な町づくりを…

## 只見町消防団出初め式

1月8日、朝日地区センターで平成24年只見町消防団出初め式が行われ、副班長以上の幹部団員と関係者ら80名が参加しました。消防長の目黒町長が「昨年の豪雨災害時の迅速な行動と人命救助、捜索活動などにあたっていただき感謝します。これからも、消防団としての職責を全うされ、防火意識の高揚と、町民が安心して暮らせる安全な町づくりのために日々の努力をお願いします」と訓示を述べました。また、鈴木好行消防団長は「本年も、消す消防よりも出さない消防を心掛け活動する。消防団員の皆さんには、献身的消防意識を堅持され、さらに力強いご協

力をお願いしたい。今年は、平穩な年になるよう願う」と訓示を述べました。参加した団員は、昨年発生した水害から得た教訓を胸に新たな気持ちで今年一年の無災害を誓い合いました。

力をお願いしたい。今年は、平穩な年になるよう願う」と訓示を述べました。参加した団員は、昨年発生した水害から得た教訓を胸に新たな気持ちで今年一年の無災害を誓い合いました。



▲訓示をする目黒町長

重要文化財を火災から守る

## 只見町文化財防火デー

1月29日に行われた国指定重要文化財「成法寺観音堂」の文化財防火デー消火訓練には消防団員、婦人消防隊、成法寺護持会や梁取地区の方々など約60名が参加。消防ポンプ車や積載車が出動し消防ポンプからの放水、さらに消火栓や放水銃による消火活動を迅速に行い、文化財愛護の意識を高めました。訓練終了後に鈴木好行消防団長は「この訓練は文化財を守るだけでなく家庭の防火にも役立つ。日頃から防火意識を高め、災害に備えてください」と訓示しました。この日は、防火査察も行われました。

## 仮設住宅での新たな生活 只見地区と朝日地区 に各1棟(6部屋)

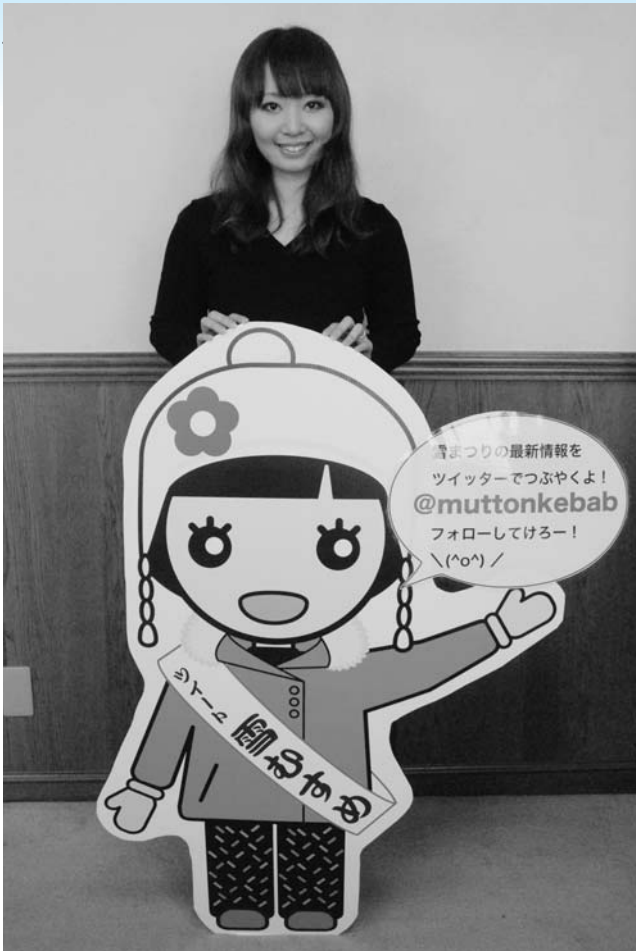
昨年7月の豪雨災害により、自宅を無くされたり土砂流出で大規模な被害を受けられた町民の方が、只見新町地区と朝日地区センター前に設置された仮設住宅で昨年11月下旬から生活されています。

仮設住宅は、耐雪型の木造住宅で、一階はフローリングの居間と和室の2部屋で、簡易のキッチンがあり、二階部分に収納スペースが確保され、エアコンや暖房機、冷蔵庫などの家電製品も完備されています。

朝日地区センター前の仮設住宅に入居されている渡部孝さん(黒谷)は「昨年の水害で自宅が浸水し取り壊したので、仮設住宅で生活している。特別不便なことはないが、今年も雪が多そうなので、除雪が大変。早く暖かくて過ごしやすい季節になってほしい。今年は災害のない穏やかな年になってほしい」と心の願いを言葉にされました。



▲仮設住宅で生活する渡部孝さん



▲ ケバブちゃん和雪むすめの本名沙織さん



## 雪「ケバブちゃん」に委嘱状 まつりをツイッターでPRしま〜す!

1月13日、ケバブちゃん（キャラクター）に「ツイート雪むすめ」の委嘱状が交付されました。ケバブちゃんは、目黒道人さん（楯戸）が作ったマスコット・キャラクターで、3人目の雪むすめとして、雪まつりのホットな情報を、毎日ツイッターでつぶやき、発信しています。情報は「@muttonkebab」にアクセスで、いつでも見れます。雪まつり期間中は会場内で、その様子をつぶやきます。

## 明「天野宣と阿羅漢」和太鼓公演 和小学校全児童が和太鼓演奏に挑戦

1月30日に明和小学校体育館で、「天野宣（あまのせん）と阿羅漢（あらはん）」による和太鼓公演が行われました。この事業は文化庁が実施するもので文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力、将来の芸術家の育成を図ることなどを目的に行われます。（有）天野宣音楽事務所の天野流宗家家元全国天野会主宰「天野宣さん」率いる和太鼓演奏グループ5名の皆さんと、最初に明和小学校全児童が「明日へ」を合同演奏、3学期はじめからリズム演奏の練習を重ね、全体練習は3回の授業で仕上げ、本番に臨みました。この演目は、様々な太鼓を勢いよくたたき、リズムカルにテンポよく演奏することが特徴ですが、児童たちは大きな掛け声でタイミングをとりながら、息の合った、軽快で力強く元気な演奏を披露。保護者など聴衆から感動の拍手が送られました。同校6年の「高橋涼花さん」は、演奏を振り返り「上手に楽しくできた。リズムを合わせる練習で友だちとの絆が深まった。小学校生活も残りわずか、よい思い出になった」と笑顔で感想を述べました。児童は一流の勇壮で迫力ある和太鼓演奏7曲を堪能しました。



▲ 練習の成果を披露する明和小児童

## 只 「自然首都・只見」展 見の自然や特産品を紹介

只見町ブナセンターが主催する「自然首都・只見」展が千葉県の柏市中央公民館で1月31日～2月5日に開かれ、期間中延べ約400人が訪れました。会場では只見の自然や暮らしをパネルで紹介、さらにマタタビ細工のザルや手さげバックなども展示され、来館者の目を楽しませました。ブナセンター主任指導員、新国勇さんの講演も好評で102人が集いました。2月25日には東京で講演されます。



▲ 大勢詰めかけた新国勇さんの講演会

## す 朝日保育所・新春カルタ会 ばやい動作でカルタにタッチ



▲ 真剣な表情でカルタに手を伸ばす保育所児

朝日保育所では、1月18日に新春カルタ会が開かれ、保育所児42名とそのおじいちゃん、おばあちゃんも参加しました。5～6人のグループに分かれ、元気な「はい」と同時にすばやくカルタをつかんだ保育所児は、笑顔でおじいちゃん、おばあちゃんに見せていました。表彰式では、たくさん取った順に、1位から3位とがんばり賞のメダルが贈られました。最後に、みんなでみかんを食べ喉をうるおしました。

## 葛 只見川電源流域振興協議会支援活動 尾村仮設住宅に奥会津の「食」を提供

只見川電源流域振興協議会は、農商工連携部会を中心に三春町の葛尾村仮設住宅で、12月22日、奥会津の「食」を提供する支援活動を行いました。今回で2回目の活動、もちつき大会や甘酒の振る舞い、雪の中から掘り出した雪中野菜の販売など奥会津ならではの「食」を堪能してもらいました。お礼として葛尾村幼稚園の園児9名によるかわいらしい歌のプレゼントもあり、心温まる交流となりました。



▲ もちつきを楽しむ葛尾村幼稚園の園児

## 和 シニア学級・パソコン教室 やかに、楽しく基本操作学ぶ



▲ 細やかな説明で楽しく学ぶ受講者

1月26日に朝日地区センターで、教育委員会が主催する「シニア学級・パソコン教室」が行われ、町内から14名が参加、ワード初級講座を受講しました。この講座は1月23日から四日間開かれ、参加者は、通知文書や簡単な名簿などを、写真やイラスト、飾り文字も取り入れ、オリジナルのレイアウトで仕上げていました。1月30～31日の二日間は、エクセル（表計算）初級講座が開かれました。



# 町史

## とっておきの話

211

南相馬市博物館学芸員 稲葉 修

### 只見とっておきの魚たち ①

今月号からの連載6回は、只見の魚たちです。執筆される稲葉さんは、南相馬市博物館に勤務するかわら、魚を追って、福島県のみならず関東、東北まで足を運んでいます。そのほかにも、両生類・は虫類・淡水産二枚貝など幅広く調査されており、県下で、もっともくわしい方です。

#### 只見町には、 どんな魚がいる？

福島県には、「太平洋に流れる浜通り・中通りの川」と「日本海に流れる会津の川」があります。只見町の川は、阿賀野川となつて日本海に流れます。

県内に生息する魚類は、2011年までの調査で110種類ほどであることがわかりました。「太平洋に流れる川」では河口でみられるスズキやボラなどの海の魚を含めて約90種類、「日本海に流れる川」では47種類を確認できました。そのうち、県外からやってきた「国

内外来種」と、外国からやってきた「国外外来種」などの外来種は23種類ほどいます。

では、会津にみられる47種類のうち、只見町では何種類の魚がいるのでしょうか。1990年代から網や釣りなどで採取したり、魚にくわしい町の人から聞き取るという方法で調査してきました。実際に魚を捕り自分の目で確かめることはとても大切ですが、魚の写真や標本を見てもらいながら、むかし住んでいた魚や最近増えてきた魚などを教えてもらう聞き取り調査は、地元でないと得られない貴重な情報です。こうして集まったデータから、いろいろなことがわかってきました。

まず、今から80年以上前には、少なくとも8科12種類の魚が只見町の川にいたようです。それらは、もともと只見町に生息していた在来種だと思われます。沢々にはイワナ、只見川や伊南川にはウグイ（ハヤ・アカハラ・セノヨ）、アブラハヤ（ボヤ）、シマドジョウ（ゲナツチヨ）、アカザ（バチイヨ）、陸封型カジカ、カワヤツメ河川型

（ヤツメ）などが多くみられ、海から遡上するアユやサクラマスなどもありました。雪融け水が大量に流れる只見川や伊南川は、瀬と淵が連続して流れていくので、周りの山々からの沢水により水温も低目だったことから、もともと生息していた種類数は少なかったようです。しかし、下流にダムができた昭和3年以降は、サクラマスやサケ、アユ、ウナギなど海からやってくる魚の遡上がなくなつてしまいました。その後、昭和30年代に完成した田子倉湖や滝湖でワカサギやコイが放流され、河川にはアユなどが放流されるようになり、また、この放流に混じつて、オイカワ（ヒメマス）やモツゴ、トウヨシノボリなどの国内外来種がみられるようになってきたと思われます。また、1990年代以降、オオクチバス（ブラックバス）やブルーギルなどの国外外来種も確認されるようになりました。

これらの移り変わりをへて、現在では12科28種類の魚が

只見町の川やダム湖で確認されています。しかし、この28種類のうち、只見町にもといた在来種は10種類くらいです。只見町の川に残つたわずかな在来種は、この先どうなるのでしょうか。開発や改修でいなくなつてしまわないか心配です。これから先どうやって守っていくのか、私たちに突きつけられた宿題です。



珍しい魚になつた  
只見町の在来種シマドジョウ



只見短歌会

十二月詠草

大塚栄一

指導

水成岩の白き切岸幾年も風化崩落止まらずに続く

角田 一男

晩秋に蕾持ちちるし石南花を雪に備へて丹念に囲ふ

馬場 八智

病癒えし身はためらはず五冊目の三年連記の日記帳買ふ

古川 英子

東京で娘の好物の鯨漬け教へし娘に聞きて漬け込む

吉津 政枝

年越しの夕餉に添へし風習のお平に込めし思ひめぐりぬ

関谷登美子

未だなき大災害の続きたる多難な年も雪に暮れゆく

渡部ゆき子

震災後来たる神楽は舞ひ終へてわが心付け受けず去り行く

目黒 富子

唐突に坐骨神経痛病みて足を引きつつ朝刊配る

五十嵐夏美

年末に帰郷の娘を鬼怒川に迎へしが通る車少なし

渡部ヨリ子

ながき雨漸く止みて晴れわたる秋晴れの下鉢植ゑ囲ふ

新国 洋子

(出 詠 順)

只見俳句会

一月例会

目黒十一

指導

七種に足らぬ七草うつくしき  
初戒銘銘皿は会津塗

礼

水泉活け見てをる猫が顔洗ふ  
千両の鉢を携え友見舞う

邦 夫

遠ざかる尾燈見送る雪の道  
明けやらぬ窓に除雪の警戒燈

又壺歩

買初や指で尺とる夫婦箸  
寒空や鶏小屋ほどの新天地

笑 羊

この村に漸く馴れし頬かむり  
牡丹雪睫にかかる重さかな

一 灯

冬木立ふつときえたる人の影  
菜を洗ふまろき背中に小雪消え

康 女

底冷えし東京の朝皆無口  
新聞の冷たき重さ今朝ひとさわ

修 一

年の礼親に似し子に思ひ馳せ  
子供等はスノーモービル橇の客

リウコ

水底に音をしずめる冬の川  
女正月おとこ料理の寒ねりぼう

恒 夫

お年玉中身は何と知らぬ顔  
書初や右に左に火の用心

都

鮎漬<sup>ほっけ</sup>今が食いごろ女正月  
ほほえまし玉山崩る年始酒

吉 児

標のさしむ音行く宮の道  
各の精霊鎮め山眠る

洋 子

室の花小さく畳む車椅子  
降り積る雪に見送る友の影

邦 男

農業を継ぐかと問いて屠蘇を酌む  
にしん漬けお平も供へ歳徳神

一 穂

冷厳なしぶき氷や猪苗代  
天に地に鳴くや櫓の初鴉

隆 堂

天気図は冬型となりつつこ編む  
豪雪や村湯温泉休みと云う

敦 子

天に地に鳴くや櫓の初鴉

# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
民生課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

## 税 今月の納期

- 2月27日までに  
納めましょう
- 水道使用料 (4期)
  - 農集排使用料(2月分)

## RECRUITMENT

# 募集

### 平成24年度 南会津地方広域 市町村圏組合臨時職員

南会津地方広域市町村圏組合  
会計室に勤務する臨時職員を募  
集します。

- 雇用職種 臨時事務補助
- 雇用予定人員 1名
- 応募資格
  - ① 日本国籍を有する方
  - ② 地方公務員法第16条(欠格事  
項)に該当しない方
  - ③ 年齢資格等
    - \* 年齢・学歴は問いません。
    - \* 年齢・学歴は問いません。
  - ④ 条件
    - \* パソコンのワード、エクセル  
をある程度使いこなせる方
- 勤務・待遇
  - ① 勤務地

南会津町役場会計室  
(南会津町田島字後原)

- ② 待遇 組合の規定による
- ③ 勤務日 週5日  
午前8時30分〜午後5時15分

● 雇用の方法  
面接及び書類審査(履歴書)に  
より雇用予定者に通知します。

- 面接予定日
  - ① 面接日時  
応募者に別途連絡します。
  - ② 会場  
南会津地方広域市町村圏組合  
事務局(県南会津合同庁舎向)

● 応募手続き及び期間  
① 市販の履歴書に写真を貼り、  
必要事項を記入のうえ南会津  
地方広域市町村圏組合事務局  
に提出してください。

- ② 受付期間  
平成24年2月23日(木)まで(執  
務時間中に限ります。)  
郵送の場合も、2月23日(木)  
必着です。

● その他

この募集に関してご不明な点  
は、南会津地方広域市町村圏組  
合事務局総務係へお問い合わせ  
ください。

▼ 問い合わせ  
南会津地方広域  
市町村圏組合事務局

〒967-0004  
南会津町田島字西町甲4331  
☎0241-6210054

### 平成24年度 地域づくり応援事業

全会津十七市町村等で構成し  
ている「あいづふるさと市町村  
圏協議会」では、地域づくり・人  
づくりなどを積極的に実践する  
団体を支援するため、ソフト事  
業を対象とした補助金を次によ  
り交付します。

- 募集期間  
2月20日(月)〜3月19日(月)
- 対象事業

広域的な波及効果があるソフ  
ト事業、地域の特徴・特徴を出し  
たソフト事業、地域間交流につ  
ながるソフト事業など。

● 補助金額  
最大70万円(補助対象経費の  
3分の2以内)

● 申請書  
次のいずれかにて入手してく  
ださい。

- ▽ 只見町役場総務企画課企画班
- ▽ あいづふるさと市町村圏協議  
会ホームページよりダウンロ  
ード  
「パーフェクトあいづ」  
<http://www.aizu-furusato.com>
- ▽ あいづふるさと市町村圏協議  
会事務局  
(会津若松市中央3-10-12)

● 申請窓口  
只見町役場総務企画課企画班

- 結果通知  
5月下旬予定
- ▼ 問い合わせ

### 国の教育ローン (日本政策金融公庫)

本学に入学時・在学中にかか  
る費用を対象とした公的な融資  
制度です。学生・生徒お一人につ  
き300万円以内を固定金利「年  
2.55%(母子家庭の方は年2.  
15%)」平成23年11月10日現在」  
で利用でき、在学期間内は利息  
のみのご返済とすることができ  
ます。詳しくはコールセンタ  
ーへお問い合わせください。

- ▼ 問い合わせ  
教育ローンコールセンター  
(ナビダイヤル)  
☎0570-000-8656  
☎03-5321-8656

▼問い合わせ

朝日診療所  
0241-8412221

## 朝日診療所Q&amp;A

こんにちは  
yusuzenの？

**Q** 予約日に都合が悪くなり行けない。診察予約を変更したい。胃カメラやエコー検査をキャンセルしたい。

**A** 予約があれば準備をして待っています。来所できないときは連絡をして予約を取り消してください。事前に来所できないことがわかれば、別の方を取り消された予約枠に入れることができます。夜間や早朝、土日曜日、祝祭日は予約の変更ができませんので、検査のキャンセル以外は、平日の午前8時半から午後5時半の間にご連絡をお願いします。

**Q** 2科受診（歯科と内科、内科と整形外科）をしたい。

**A** 可能です。ご要望が多くあった内科と整形外科の同日受診も可能になりました。ある程度時間に余裕をみて、それぞれの科に予約を入れてください。

## 申告は

正しくお早めに

●平成23年分の所得税の確定申告受付は2月16日（木）から3月15日（木）まで、消費税及び地方消費税（個人事業者）は4月2日（月）までです。

※税務署の閉庁日（土・日・祝日）は、税務署では相談及び申告書の受付は行っておりません。また、インフルエンザ等への対応として、申告書作成会場では職員がマスクを着用して執務する場合がありますので、ご理解をお願いいたします。ご来場される際は、感染予防のご協力をお願いいたします。

なお、申告書は、郵便、信書便又はe・Taxによっても提出可能です。

●自宅のパソコンから申告などの手続きが簡単にできます。e・Taxを利用して申告すると、①HPからカンタン申告②最高4千円の税額控除③添付書類の提出省略④還付がスピーディー⑤3月15日まで24時間利用可能※ご利用に当たっては事前準備が必要となります。詳しくはe・Taxホームページ（www.e-tax.go.jp）をご覧ください。

## 町長室日誌

〈 1 月 分 〉

- 4日 仕事始め式（広域消防署只見出張所、こぶし苑、役場本庁、西部環境衛生組合）
- 5日 新任教育委員辞令交付式、只見町表彰式・公共施設落成式、新年交歓会
- 6日 仕事始め式（広域消防本部）、県関係機関及び新聞社等年賀挨拶
- 8日 只見町消防団消防出初め式
- 11日 福島県林業協会役員会及び臨時総会
- 13日 只見ふるさとの雪まつり「ツイート雪むすめゲバブちゃん」委嘱状交付式
- 16日 只見ふるさとの雪まつり雪運搬開始式
- 17日 東邦銀行親和会新年会
- 18日 県南・会津・南会津地方原子力損害賠償対策組織設立総会
- 20日 職員退職者連盟只見支部総会
- 23日 福島県林業協会監査
- 24日 福島県町村会役員会、町村長と知事との意見交換会
- 25日 南会津地方広域市町村圏組合管理者予算査定
- 26日 只見町土地改良区監事会及び理事会
- 28日 只見町青少年健全育成主張大会・標語入賞者表彰式、只見町青少年健全育成町民会議専門部会
- 30日 会津縦貫南道路整備促進に係る県要望活動及び地方要望活動
- 31日 雪まつり実行委員会、衛生組合統合準備委員会

tax.nta.go.jp)をご覧ください。

●国税庁では、確定申告を行うための様々なサポートサービスを提供しています。「医療控除」や「住宅ローン控除」など、どんな書類を用意して、どうすればいいのかよく分からないといった皆様の声から、より分かりやすく、便利なサービスをご利用いただけるように、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）に「確定申告特集ページ」を開設しています。また、「確定申告特集ページ」には東日本大震災に関連した雑損控除や寄付金・義援金に関する取り扱いも掲載されております。

確定申告に関する一般的なご相談は、「電話相談センター」をご利用ください。税務署に電話をおかけいただき、自動音声応答（音声ガイダンス）に従って番号「0」を選択してください。なお、「電話相談センター」には、東北税理士会の会員税理士にも従事いただいております。

●平成23年分の納付期限は、申告所得税は3月15日（木）、消費税及び地方消費税（個人事業者）は4月2日（月）です。なお、納税は振替納税の利用をお願いいたします。平成23年分の振替日は、申告所得税は4月20日（金）、消費税及び地方消費税（個人事業者）は4月25日（水）です。

▼問い合わせ

田島税務署

## 教育委員の退職

任期満了により、只見町教育委員の横山大太郎さん（楡戸）が退職されました。横山さんは平成16年1月5日から平成24年1月4日までの8年間在職され、教育委員長も務められました。今後も、町の教育振興のためご指導をお願いいたします。長い間、ご苦労様でした。

0241-6211230  
（音声案内後「2」番を選択）



# 町民の消息

(1月1日～1月31日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

立野 美梨 (みれい)  
(女/陽平・由美) 只見  
平野 詠大 (えいた)  
(男/哲也・祥子) 小林  
八島 佑斗 (ゆうと)  
(男/亮・かな) 小林

## ■ご結婚おめでとうございます

赤塚 友紀(長浜) ♥ 横田 薫(大倉)  
中和田雅弥(只見) ♥ 中山 明美(新潟県)

## ■おくやみ申し上げます

齋 藤 正 男 93歳 長浜  
梁 取 一 好 87歳 坂田  
渡 部 秀 夫 63歳 小川  
白 井 康 賢 86歳 只見  
星 シツ子 80歳 二軒在家

# 人のうごき

平成24年1月1日現在

人 口 4, 8 3 5 (-14)  
男 2, 3 1 5 (-7)  
女 2, 5 2 0 (-7)  
世帯数 1, 8 4 6 (-8)  
高齢化率 41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 9 出生 2 死亡 12



▽いよいよ、冬の祭典「第40回只見ふるさとの雪まつり」がスタートしました。「みんなで復興がんばっぺ！」が合言葉。楽しく過ごしましょう。今年も、花火が楽しみです。

## あとがき

## 町民憲章

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員  
渡部 敦子

明和地区センター  
図書室 ☎86-2111

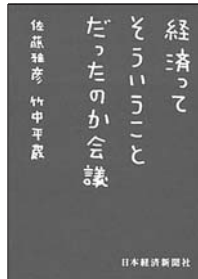
# おすすめ新着図書

## ★真説！幕末キャラクター読本



伊藤春奈/著 (アспект)  
大きな時代の転換期であった幕末。本書は、歴史の裏表に細やかに触れながら、動乱の時代に生きた熱く型破りで魅力的な人物たち35人の素顔に迫っています。小説などで広まったイメージにとらわれず、史実に忠実であろうとする姿勢がうかがえ、各人物の意外な素顔や知られざるエピソードを紹介しつつ、年表、事件、思想などの資料も掲載され、マンガっぽい表紙に似合わず中身はかなり充実。でも硬くない。「ちょっと興味が・・・」という人も読めばきっと歴史が好きになるのでは？

## ★経済ってそういうことだったのか会議



佐藤雅彦、竹中平蔵/著  
(日本経済新聞出版社)  
経済学について「だんご3兄弟」生みの親の佐藤雅彦氏が質問をし、金融担当大臣など内閣の要職を歴任した竹中平蔵氏がそれについて解説するという形の本書、佐藤氏が初歩的な質問をばんばんしてくれるので(私のような)経済オンチにもとても分かりやすく且つ面白い経済の入門書になっています。まさに「経済ってそういうことだったのか!」と、目からウロコが落ちること請け合いで、読んで損なし!佐藤氏の経済ひとコマまんがもゆるくて楽しい。

★『スティーブ・ジョブズ』I、II、木内昇『新撰組裏表録 地虫鳴く』の他、海外の絵本を中心に購入しました。ぜひご利用ください。  
★リクエストは随時受け付けておりますので、遠慮なくお寄せください。

## 表面霜(ひょうめんじも)

早朝、雪面がキラキラと輝いているのを見たことがないでしょうか。  
これは積雪の表面にできる霜で、よく晴れた夜、雪面が放射冷却したときに  
空気中の水蒸気が積雪表面に凝結して成長した氷の結晶です。  
この上に雪が降って積ると表面霜は弱い層となって残り、表層雪崩の原因  
になることがあります。



表面霜拡大

表面霜全景

### イベント

只見町ブナセンター・東京講演会

○「只見の自然と暮らし」 講師：新国 勇さん

と き：2月25日(土) 午後1時30分～午後2時30分

と ころ：貸会議室スペース TOKU

東京都中央区八重洲2-6-21 三徳八重洲ビル地下1階

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

### 豪雨災害による支援

多くの皆様から、義援金やお見舞いをいただいております。

誠にありがとうございます。いただきました支援金については災害  
復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

義 援 金 39,258,002円 (220件)

見 舞 金 6,169,482円 (48件)

2月6日現在

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています